



第54号

発行
山辺地区社会福祉協議会
事務局
山辺公民館内
TEL 0284(71)0516

- すなおな心 (はい)
- 反省の心 (すみません)
- 謙虚な心 (おかげさま)
- 奉仕の心 (私がします)
- 感謝の心 (ありがとう)
- 山辺地区日常五心

28年度総会

住みよみ地域ぐるみ活動を進進

5月15日、公民館別館ホールにて今年度の総会が、多くの来賓を含め、百十三名の方々の出席の下に開かれた。

会長挨拶後、功労者表彰を実施。本年は長期役員退任表彰はおられず、ボランティア5年継続の功労表彰が行われ、清水愛子さん、山口陽子さん、寺嶋公恵さんが受賞された。

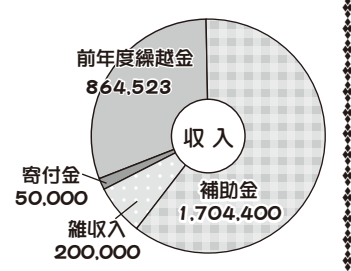
来賓祝辞では、市社協地域福祉課石田課長より「介護保険法や共生社会促進法等に基づく諸福祉事業等を市社協として推進中であるが、地域内浸透に於いて地区社協の貢献は大きい、特に山辺は、3月に市として初の障がい児・者ふれあいサロン実施等協力が大で感謝申し上げます。今、第二次地域福祉活動計画を



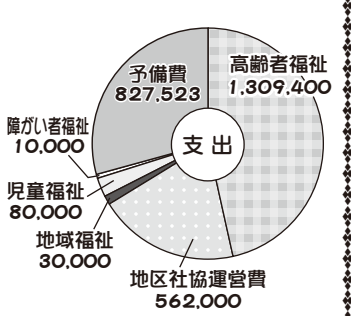
祝辞を述べる市社協石田課長

28年度予算グラフ

収入内訳 総額2,818,923円



支出内訳 総額2,818,923円



今年度の主な事業

- ◆ 高齢者福祉 独居老人給食サービス 友愛訪問・特別会食会 老連支援・講演会開催 いきいきサロン支援 安心キット普及
- ◆ 障がい者福祉 体験研修又は訪問交流等
- ◆ 児童福祉 福祉教育支援 子育てサロン運営
- ◆ 地域福祉 ふれあいハイキング 福祉ボランティア育成 山辺文化祭模擬店事業
- ◆ 地区社協運営 地区外研修ツアー 広報紙発行・総会・理事会・支部活動支援

最後に市社協根岸係長と中西担当員から挨拶を頂き総会を終えた。

山辺出身の江戸木彫刻師 北澤一京師の講演会 開催予定

九月二十八日(水) 山辺公民館 別館ホールにて

北澤一京師はわが国を代表する神仏木彫刻師・水墨画家として活躍中で、日本木彫連盟専務理事、国画水墨院副理事長などを務め、人間国宝に推挙される有力候補といわれている。

今回、故郷での講演が実現する運びとなった。当日は師の素晴らしい作品の一部も展示頂ける方向でつめられている。因みに四年前に市に寄贈された80号の大水墨画「鏝阿寺太鼓橋」が山辺公民館ホールに掲示されている。郷土の偉大な芸術家、北澤一京先生の講演会には是非お出で下さい。乞う御期待です。(無料)



作品を前に語る 北澤一京師

救急安心キット

備えていますか？

「自分の体調が悪い」「自分の体調が悪い」「自分の体調が悪い」所、「掛かっている医者」「飲んでいる薬」「子ども等緊急連絡先」「保険証番号」等を記入した用紙を所定の筒に入れ、冷蔵庫扉内側(救急隊との約束場所)へ入れておく、目印としてその冷蔵庫扉右上にシールをはっておく、という仕組みです。

急に具合が悪くなると救急車を呼び、自分の事は何も知らない救急隊員に駆けつけて貰った時に、目印を頼りにキットを見て貰うという物です。しゃべれなくても気を失つていても、的確に救急隊員に自分のことを伝えてくれて、劇的に効果を発揮してくれる力をもっている物ですが、決められた約束事を守っていないと何の役にもたちません。例えば救急隊との取決めで冷蔵庫内保管であるのに他の戸棚等に置いていたり、扉に目印のシールが貼ってなかったり、何も記入されてなかったり、

山辺の今昔譚

第8回 「日本整形外科の父 田代義徳博士の足跡を尋ねて」

田代義徳博士顕彰会 その一、神童と呼ばれて

田中橋南詰の東側道沿いに「日本整形外科父 田代義徳先生生誕処」銘の記念碑がある。昭和31年、日本整形外科学会・日本レントゲン学会・足利郷友会(医者を中心とした有志)により、ここ田中町の生家敷地内に建立された。日本整形外科の礎を築くなど、博士の日本の医学界における業績は誠に偉大であり、地元町民はもとより、



田中橋の東脇に立つ 田代義徳博士生誕の碑

足利市民・栃木県民の誇りである。そこで顕彰会では、博士の業績と人となりにより詳しく、多くの方々を知って頂く活動を広げているところである。特に学校・公民館などの教育機関をはじめ、様々な場で進めている。では、これから博士の業績と人となりを生誕から成長の足跡を追いながらお話ししたい。

江戸末期(明治になる4年前)、名主を務める田部井家の三男又助として生まれる。又助はとも教育熱心な家庭環境に育ち、幼少より手習い塾に通うなど勉強に励んだ。小学校・中学校とも成績優秀で、15歳の時母校・山辺小学校の教師となった。しかし半年後、教師を退職してしまつた。せっかく教師になつたのになぜ?(続きは次回)



風船バレーボールにみんな大歓声!!
心が一つにまとまっていく瞬間

3月19日、山辺公民館にて、市社協主催・山辺地区社協共催の障がい児・者ふれあいサロンが開かれた。障がい者とのスポーツ交流会等は山辺始め多くの地区で何度も実施されてきているが、ふれあいサロンとしては、市として初の開催となり、支援共催を山辺地区が担当した。当日、心配された天気も関係者の善意の願いが通じたのか青空も覗き、車いすの方々の参加も容易になった。

市社協6名、地区社協17名が会場を整える中、一時半頃より障がいを有しながらも地域の中で共に頑張っている方々が、集まって来てくれる。地区社協のお姉さまたちのつくるフリースタイルや同おじさん達がつくるポップコーン等を持って思い思いの席に着くと、顔見知りの市や地区の方々が寄り添い、すぐに保護者同士の輪ができ、和やかに座が盛り上がる。輪投げに興ずる親子も。この輪投げの最高得点は何とアイの会の会長さん。見える眼よりも心の眼の力を感じ取る。会場のホールも一杯になる二時前より、地区社協の福祉ボランティアの方々の出番。山辺オリナ会の8名の皆さんが軟らかな音色で優しい曲を奏で、歌える歌には口ずさむ。(30分)次は風船バレーボール、子供達が夢中になる。歓声は我々ボランティアにはエールそのものだ。ちよつと汗ばんで一息。盛り上がった所で、皆で歌う合唱グループ「サロ四季」6

超高齢社会を迎えて、脳の老化予防に関する研究が飛躍的に進んできている。特に筋トレや体操の効果が注目され、そこに着目した施設が生まれている。

太田デイトレ センターを訪問

名の出番。会員が座の中に散り入って一緒に童謡を歌う。子供達が身体全体を使って踊るように叫ぶ。楽しんでる姿を見るだけで嬉しく感動が湧いてくる。あつという間に予定の三時を回ってしまい、閉会の合図を出すのが惜しまれる位の盛会。障がい児・者が健常者の中に混じって地域で生活していくにはまだまだバリアがあろうかと思うが、今日参加の、障がい児・者もボランティア参加者も、個々の環境は異なるものの、共に一生懸命生きている人としての共通感を持てたのではないかとと思う。特に、障がい児を持つ親(若い母親)の屈託ない明るい笑顔と挨拶と頑張っている自己表現の対話に、我々の生き方に叱咤激励を頂くようなパワーを感動と共に感じた時であった。



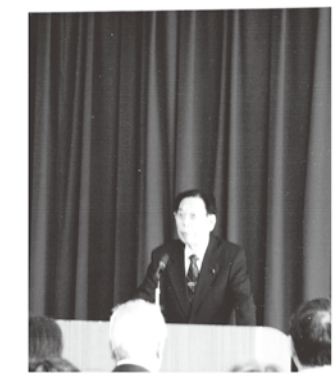
健常者のトレーニングジムかと思える程の充実した機器類

「近未来型デイサービス」と銘打って、充実したトレーニング機器や教室を揃え、要支援・要介護にとられず個々の利用者の特性に合ったプログラムが選択できる施設・太田デイトレセンターが、昨年台之郷にオープン。山辺民児協の研修でグループが視察してきた。現定員二二〇名、職員87名、2階には12の機能訓練室が有る等大きな施設で充実したトレーニングやプログラムが可能。現在介護認定を受けた約二〇〇名が利用しており、足利市からの利用者は3割程という。よりアクティブなりハビリで介護度維持や改善が実績として出ているという。

初の障がい児・者とのふれあいサロン

感動の盛り上がり、和やかな交流が

区社会福祉協議会



好天に恵まれ、皆様何かとお忙しい中、ご来賓の皆様を始め当社協総会に多数ご参加頂き大変ありがとうございます。冒頭に先日の熊本大地震による被災者への哀悼の意を表したいと思ひます。市内においては四月末、五十分部での介護疲れからの悲劇や昨年末の利根川での入水事件等を聞くにつけ、安心して住み続けられる地域づくりの大切さは、全住民は勿論のこと、地区内の各団体が共通して第一に掲げる目的であります。「住み易さの向上」を目的として地域福祉活動を推進する山辺地区社協は、「福祉」という側面から、地区内各団体とボランティアが集まって活動を進めていく

住んで良かったと思える地域作りを

総会時の挨拶・山辺地区社協会長 稲垣柳一郎



総会の風景

組織です。「福祉」の範囲は日々の生活面に結びついていても広いだけに当社協の活動も多岐に亘っております。老人や子供、障がい者対象の福祉活動だけでなく地域住民への対応事業も多数含まれております。その活動の詳細は本日の資料をご参照頂きたいが、市内他地区に比しても極めて活発な活動内容だとの評価も頂いております。それらは偏に、企画立案に努力してくれる関係者、そして参加・実行してくれている多数の皆様方のご協力と努力の賜物だと改めて御礼申し上げます。



総会に華を添えた延熙会の皆さん

市社協地域福祉課長	石田由紀子様
市議会議員	栗原 収様
同	小林 克之様
同	吉田 晴信様
山辺小学校長	川島 初夫様
南小学校長	岩崎 和則様
山辺中学校長	菊地 廣光様
みなみ保育所長	岡田 町子様
八幡こども館長	英木 温子様
山辺公民館長	小野 秀典様
市社協係長	根岸 芳恵様
市社協主事	中西 聖様
両毛新聞社	会田 記者様
県議会議員	早川 尚秀様
同	塩田 等様

総会ご臨席のご来賓

平成28年度 山辺地区社会福祉協議会 役員

副会長	長 稲垣柳一郎(自)
会長	菅 弘武(自) 三田忠良(自)
常任理事	小堀蒼洋(協) 星野真之(民)
事務局長	増田 隆(交) 本橋裕一(自)
常任理事	今泉 一(老)
理事	齋藤修一(協) 齋藤美代(協)
理事	仁木明子(協) 高瀬雅子(協)
理事	新江義夫(協) 柳沢 猛(協)
理事	栗原 収(協) 小林英一(協)
理事	萩原恵美子(民) 岸 定彦(協)
理事	青山征史(自)
理事	斎藤省三(自) 永倉 一郎(自)
理事	齊藤智男(自) 坂本 三郎(自)
理事	塚本松枝(自) 堀越幹夫(自)
理事	山本順一(自) 飯田 三郎(自)
理事	岡田 朗(自) 石川昭二(自)
理事	中村征男(自) 石島力(自)
理事	松本留男(自) 田中榮太郎(自)
理事	金井 弘(自) 古山 高(自)
理事	小暮 保(自) 増山貞夫(自)
理事	島田恵子(民) 伊藤眞津江(民)
理事	橋本静江(民) 新井 明(民)
理事	金井幸子(民) 上岡恵子(民)
理事	増田晴美(民) 川島健勇(交)
理事	須永貞子(交) 大塚雅代(学)
理事	今野歌子(体) 松葉みづ子(体)
理事	須永利江(老) 生澤さくえ(協)
理事	柴崎満子(協) 宮沢秀喜(協)
理事	田島章廣(協) 田中幸子(協)
理事	永倉みさを(協)
監事	須永 昭(協) 岡村貞敏(協)
事務局	樋口茂延 齋藤修一 齋藤美代
事務局	高瀬雅子 新江義夫 柳澤 猛
事務局	栗原 収 小林英一 宮沢秀喜
事務局	田島章廣 田中幸子